

学校名 秩父市立影森中学校

所在地 秩父市上影森53

電話 0494-22-0778

1 本校の概要

本校は創立62年の歴史と伝統をもち、「旅立ちの日に」が誕生した学校としても有名である。

236名の生徒は、「学び、磨き、鍛える」の教育目標のもと、学習や部活動、生徒会活動に積極的に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書活動の充実と読書環境の整備

(2) 実践の概要

ア 学校挙げての読書活動の推進

・全校一斉の朝の10分間読書（特別日程や朝会のある日を除く毎日実施）

・「月別経営計画」に読書活動を明示（家庭読書30分以上を目標）

・朝会の校長講話での読書の勧め

・それぞれの職員による「影中生に薦めるこの1冊」の紹介

イ 生徒図書委員会の読書推進活動及び見届け

・昼休みの図書室開館と利用の呼びかけ

・「読書マラソン」の実施（5月と11月に実施。2週間に読んだ本とページ数を記録）

・朝会での読書の呼びかけと多読賞の表彰

・「1週間に1冊以上本を読もう」キャンペーン（7月実施）
感想メモを廊下に掲示

・図書だよりの発行（月1回、図書委員からのお薦めの一冊の紹介など）

ウ 読書の幅を広げる活動

・推薦図書リストの作成と提示（100冊余）

・国語科における読書スピーチの実施（年3回。2回目は1回目と違うジャンルの本。3回目は推薦図書リストからの選書。）

エ 蔵書の充実（蔵書冊数9,233冊24年12月）

・学校図書館図書標準を超えた蔵書数

・偏りなく0~9分類様々な分野の本を購入

・学級文庫の設置

（各クラス30冊

程度。担任による追加もある。）



オ 図書室の配架や掲示の工夫

・NDCに基づく配架と見やすい配置（日本文学は著者名の50音順に並べてある。）

・読書意欲をそそる配架や掲示（表紙を見せた配架。読めばわかるクイズ形式の掲示物）



・季節やテーマにあわせた掲示



3 成果と今後の課題

(1) 様々な取組を通して、いつも手元に本がある生活が当たり前となり、休み時間や給食の配膳待ち時間などを利用して読書に親しむ生徒が増えた。家庭で読書をする生徒も増加した。読書の質を高めること及び未だ読書に関心を示さない生徒の興味をいかに引き出すかが今後の課題である。

(2) 司書教諭補助員の配置により図書室の環境整備が進み、図書室の開館を楽しみにする生徒が増えた。各教科の授業に関連する図書の紹介、蔵書のデータベース化が今後の課題である。

(3) 市立図書館との連携を図り、朝読書文庫や調べ学習文庫の集団貸出の利用も進めていきたい。